

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6 年 4 月 4日

事業所名 ひだまりのおうち

保護者等数(児童数) 9

回収数 7

割合 77 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7					電源コードの場所に注意	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7						
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			1		その日に来る利用児に合わせて設備等を整え、過ごしやすい環境を作る	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	7						
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	6			1		スタッフがその日の申し送り(活動内容)を保護者に分かり易く伝えられるようなコミュニケーション力の向上を目指す	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1	1	5		他事業所への交流はあったが、利用児全員が参加できたわけではない。感染に注意し、保護者の方の意見を聞きながら近くの小学校への交流をはかる(学校開放の日に遊びに行く等)	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7						
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7						
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7					今後も引き続き困りごとはないか?等聞いていく	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1			6		同世代、同じ疾患等で保護者同士をつなげることはあるが、繋がっていない保護者もいらっしゃるので、感染流行具合をみながら、保護者会の検討を行う	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				2	苦情がないので分からない	今後も苦情があった時には迅速に対応していく
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7						
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7						
14 個人情報に十分注意しているか	7							
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7					マニュアルの見直し-保護者への周知を行う	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6			1		今後も定期的に訓練を行っていく	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	4			3		体調の事ばかりでなく、事業所内での活動やその時の様子を全スタッフが端的に伝えられるようにする	
	18 事業所の支援に満足しているか	7						

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。